

第2回 櫛田川自然再生推進会議 議事概要 (案)

日 時：平成28年7月5日 (火) 10:00~11:10

場 所：多気町民文化会館 2階第二講座室

1. 開 会

2. 挨拶 (三重河川国道事務所長)

3. 委員紹介

4. 議 題

(1) 第1回櫛田川自然再生推進会議議事概要について

○第1回推進会議の議事概要について事務局から説明を行い、了承とされた。

○第1回推進会議における意見を踏まえて修正した設立趣旨について事務局から説明を行い、了承とされた。

- ・「環境の連続性」に修正の確認

(2) 規約改正及び地域連携専門部会の設立について

○規約の改正及び地域連携専門部会の設立について事務局から説明を行い、了承とされた。

- ・第1回推進会議における意見を踏まえて修正した事項の確認
- ・新たに推進会議に参加いただく委員の確認
- ・地域連携専門部会の設立及び委員の確認

(3) 技術専門部会からの報告事項について

○平成28年2月に開催された第1回技術専門部会の開催結果について事務局から報告を行い、了承とされた。

- ・H26~27年モニタリング調査結果の確認
- ・モニタリング調査結果から考えられる新屋敷取水堰における河道・魚道の改良案の確認
- ・櫛田可動堰における魚道の課題と試験モニタリング方針の確認

(4) 平成28年度の予定について

○平成28年度の推進会議や活動、モニタリング・工事等の予定について事務局から説明を行い、了承とされた。

○委員より以下の意見や情報提供を頂いた。

- ・環境に対する課題も明確になってきており、その対応策も出されてきているが、どのように改善され、進められているかがわかりにくい。少しでも早く工事ができるために、地域はどのような協力をしたら良いか教えていただきたい。
→堰の管理者との調整や予算要求のための資料づくり、データ収集などに時間を要している。予算が厳しい中ではあるが、より一層スピーディに進められるよう、推進会議も活用しながら取り組んでいきたい。
- 推進会議は年 1 回なので、この会議だけでは情報共有には不足している。日頃から情報交換等を進めていく必要がある。
- ・昭和 46 年から稚アユの汲み上げ放流を行っているが、今年は例年になく多くのアユの遡上が見られ、1,247kg の汲み上げ放流を行った。これから調整していく魚道の工事について、遡上時期は外していただきたい。

(5) 櫛田可動堰遡上環境調査の速報について

○平成 28 年 6 月に実施した第 1 回遡上環境調査の結果速報について説明を行った。

(6) その他

○H28 年度の活動予定や、櫛田川の自然環境に関する取組みや河川事業全体に対する意見について、以下の 2 件を事務局から報告した。

- ・これまで祓川の環境保全について取り組んできた。今後は櫛田川についても取り組んでいきたい。(松阪市漕代まちづくり協議会)
- ・平成 15 年 9 月に「櫛田川水系河川整備検討会」が発足以来、約 13 年、櫛田川の環境改善があまり進行していないと感じている。(多気町相可地区荒薪区長)
- ・「淡水魚保全のための提言 (H28.4 環境省公開)」を参考にした施策、非かんがい期における堤内地の水路への疎水をしてほしい。(北村委員)

○7/25 に予定されている櫛田川地域で行われる応用生態工学会のイベントについて田代委員より紹介が行われた。

5. 閉 会